

# 看護大学 だより

#15

新しい学び・人・キャンパス  
福岡看護大学の魅力を  
ご紹介します!



## 第一期生の公衆衛生看護学実習を終えて

公衆衛生看護学実習は、保健師になるために欠かせない実習です。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、実施が危ぶまれましたが、選ばされた保健師養成課程4年生第一期生10名が、京築保健所管内(築上町と吉富町各3名)と福岡市南区役所(4名)に分かれて実習をすることができました。また、豪雨により実習地でも災害警戒警報が出されるなど厳しい状況の中、新型コロナウイルス感染症流行時と自然災害時の保健師活動を間近に感じながらの実習となり、学生にとっては貴重な体験となりました。

衛生統計や住民の健康・生活調査を駆使した地域診断に始まり、健康事業を展開していく一端を実習するもので、学生は現場の保健師による各種健康相談事業や健康教育、家庭訪問および地域の組織活動などに一緒に参加させていただきました。地域の住民を対象に行う健康教育については、学生による企画・実施で、全員が連日遅くまで教育媒体やリーフレット作成に取り組みました。学生達にとっても緊張する場面ですが、内容も分かりやすく洗練されており、当日はどの実習会場でも住民とのコミュニケーションが良くとれて、保健師からも100点満点と評価していただけるほどでした。また、吉富町では町長さんまで、この企画を応援してくださいました。このように、一期生が各人の実力を十分に発揮することができたのは、ひとえに現場の保健師の方々の行き届いた温かいご指導、および住民のご協力の賜物と、深く感謝いたします。

(森中恵子)



# 短大 VOICES #15

夢を叶える場所  
「福岡医療短期大学」  
多くの出会い・絆を育んでいる  
短大の情報をお届け!



福岡歯科大学医科歯科総合病院  
歯科衛生士部(5期生)  
田頭 美穂

福岡医療短期大学専攻科を修了し、福岡歯科大学医科歯科総合病院(当時:福岡歯科大学附属病院)へ就職して17年となりました。最初に小児歯科へ配属され、保存歯周病科、補綴・口腔インプラント科、矯正歯科、手術室を経て、現在は口腔外科のリーダーをしております。今でも日々、歯科医師や歯科衛生士の先輩・後輩たちから学び、さらに学会発表や認定歯科衛生士の取得など時間のやりくりをして、充実した日々を過ごしています。

私たち歯科衛生士の業務は歯科診療に留まらず、短大臨床実習生の教育もあり、違う視点で歯科衛生士の仕事を振り返ることが重要だと感じています。なんと今年は、私が小児歯科で担当していた患者さんを短大実習生(3年生)として迎えました。年が経つ(笑)のを痛感する一方で、同じ歯科衛生士を目指してくれたことにとっても感動しました。私は3月をもって退職します。退職後は地元の歯科医院に就職し、福岡学園で学んだ事を活かし、これからは地元の患者さんのみならず、地域の歯科保健をサポートできるよう精進していく所存です。

